

今回 2022 年 4 月 1 日からの 1 か月間、そよかぜ診療所およびはるかぜ診療所で地域医療研修を行わせていただきました、永松直樹と申します。そよかぜ診療所は神戸大学病院から特急で 2 時間ほど、兵庫県の中ごろに位置する交通の要衝、朝来市に位置します。診療所の周囲には天空の城で有名な竹田城、生野銀山、茶搦山古墳などの古墳群や但馬一宮の粟鹿神社などがあり、歴史の息吹を感じることができる町です。私が研修をした 4 月は満開のソメイヨシノに出迎えられ、ソメイヨシノが散った後も八重桜や枝垂桜、水仙、ハナミズキ、藤といった花々が続々と見ごろを迎え都会では到底味わえない里山の自然も満喫することができました。

診療所での研修では午前中は主に採血検査や X 線撮影、頸部エコーや心エコーを経験させていただきました。今までの研修ではあまり採血をする機会がなく苦手意識があったのですが、研修の間に回数を重ねるにつれ細い血管でも一回で採血できるようになるなど上達を実感でき、自信ができました。エコー検査も毎回丁寧にご指導いただき、3 週目ごろからは一人で行うことができるようになり、大変勉強になりました。

午後は毎日訪問診療に伺わせていただきました。診療機材のほとんどない中、患者さんの訴えを聞き視診、聴診、打診、触診など五感と自分の経験をフル動員し診療することはとても難しく、自分の知識、経験不足を痛感しました。一律の病室で管理されている大学病院での診療と異なり、家の段差などの環境や家族の負担にも気を配りつつの医療は地域医療ならではの、患者様だけでなく周囲の家族とも情報を共有し、今患者様に何が必要なのか問題を洗い出し、医療従事者と協力し最適なサービスを提供していくチーム医療の大切さを実感することができました。医療保険と介護保険の使い分けや要介護度の見直し、利用できるサービスの確認、病院の経営方針など、大学病院での研修ではなかなか学ぶ機会のない分野も深く勉強することができ、貴重な経験となりました。

1 カ月の研修期間はあっという間に過ぎていきましたが、技術的、精神的に大きく成長することができ、一生の糧になる大変有意義な研修を行うことができたのではないかと思います。この経験をこれからの診療に活かし、患者様にとって最善の医療を提供できる医師になっていきたいと思えます。

最後になりますが、1 か月間貴重な時間を割いてご指導くださった秀樹先生、静子先生、黒瀬先生、コメディカルの皆様方、毎日おいしい昼食を作っていただいた岡本家の皆様、本当にありがとうございました。そよかぜ診療所、はるかぜ診療所の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。